



8 月号

平成 30 年 8 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 京極 高宣
 TEL (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufukai.or.jp/>
 【編集者】露口 長
 【印刷所】株式会社サイド・ビー



第三南陽園の花火大会 (7月27日)

浴風会誌 400号に寄せて

杉並区社会福祉協議会 会長 小林 義明



このたび、皆さまにお届には全国社会福祉協議会の向へと導き更なる発展を遂げられるこの会誌が創刊 400号となりました。昭にわたり我が国の福祉の向ん。和45年(1970年)に創上を尽くされた方でお刊されて以来48年の長きにわたる実績は誇るべきものであり、まさに「継続は力なり」を示しております。長、京極現理事長らに引き継がれて、会を発展させてこの会誌がその役割を発揮して、浴風会の理念と福祉活動の実践を、福祉関係者にもとより都民、区民などに幅広くお知らせし、会に対する理解を深められてきたことに、敬意を表します。

さて、この会誌の第一段にある「浴風会」という題字は、かつて政界で著名であった灘尾弘吉元会長の筆とお聞きしました。私の記憶では厚生大臣、文部大臣を歴任された方ですが、もともとは厚生省の職員で政界引退後、このたび、皆さまにお届には全国社会福祉協議会の向へと導き更なる発展を遂げられるこの会誌が創刊 400号となりました。昭にわたり我が国の福祉の向ん。和45年(1970年)に創上を尽くされた方でお刊されて以来48年の長きにわたる実績は誇るべきものであり、まさに「継続は力なり」を示しております。長、京極現理事長らに引き継がれて、会を発展させてこの会誌がその役割を発揮して、浴風会の理念と福祉活動の実践を、福祉関係者にもとより都民、区民などに幅広くお知らせし、会に対する理解を深められてきたことに、敬意を表します。

現下の社会経済状況を見るとき、官民ともに国民、消費者等の活動の対象に對して、自らの事業や取組内容が重要となっています。事業報告や決算報告に限らず、経営理念、行動指針、社会貢献の実績などを公表することが、経営をより良い方

浴風会誌が、この400号を機会として更に発展充実し、会が益々発展されま

(浴風会理事)

浴風会誌 400 号に寄せて

評議員 安江 水城



浴風会誌の発行が 400 号を迎えるに当たりお祝いを申し上げます。

私は、昭和 27 年より浴風会の側近くに住み、少年時代には浴風会の庭が遊び場でした。山羊や豚が飼われていて、緑もとても多く当時の広大な庭では野球や虫取りかくれんぼと時間を忘れて走り回った多くの思い出があります。

大人になり勤めている間は近隣の緑を観察する程度でありましたが、定年後に富士見丘町会長、杉並区町会連合会常任理事、高井戸青少年育成委員会会長等を拝命し、浴風会との関わりを深く持つようになり、改めて浴風会の地域における重要な位置づけを理解することができました。

平成 25 年から浴風会の評議員という要職も拝命し、ますます浴風会の社会的意義の高さを知る事になり、地域の一人として浴風会の存在を誇りに思っております。これからの日本は世界で最も高い高齢化が進み、人の社会活動として未知の高齢社会を模索していく道しるべとして浴風会は弛まぬ努力を歩んできていると思っております。

現在浴風会は養護老人ホーム 1 か所、軽費老人ホーム 2 か所、特別養護老人ホーム 3 か所、認知症グループホーム 1 か所、在宅地域サービス事業を 6 か所、浴風会病院、介護老人保健施設、認知症介護研究・研修東京センター、浴風会ケアスクール、事業所内保育所の 18 もの多岐にわたる多くの事業を行っております。

高齢者に関する日本の最先端の総合的実施機関であると言える浴風会が、身近に存在していることは高齢者の一人として、とても安心であると感じています。浴風会は創立 90 周年を超え、私はそのうち 70 年を共に歩んでまいりました。

この機関誌は昭和 45 年から 48 年間と言う長きにわたり、400 回も発行されたことは編集に関わる浴風会の方々の大きな努力であったと深く敬意を表すものであります。これからも私は地域の一人として浴風会へ微力ながら地域の方と共に協力し、助け合いを行っていくよう努力してまいりたいと強く考えています。

社会福祉法人東京家庭学校

上水保育園 園長 今井 静子



「浴風会誌」が創刊以来 400 号との事、おめでとうございます。一口で 400 号と言うのは簡単ですが、多くの施設関係者、地域の皆様等へお伝えする「浴風会誌」を 400 回も重ねる事のご苦勞を思います。終点に向かう私の人生の中で浴風園との思い出は色々ありますが 2、3 を思い起こしてみます。

その 1

私が浴風園を知ったのは昭和三十年の夏だったと思います。東京家庭学校に就職して最初の夏でした。施設の子どもたち 98 名の保母として初めての「きもだめし」でした。広い広い鬱蒼とした庭の真ん中？だったでしょうか、「納骨堂」(現在の礼拝堂)の階段に名札を置いてくるという約束でした。今のようにたくさんさんの建物などない森の中の納骨堂でした。事細かなことはもう記憶にありませんが「広いこと」「木が多いこと」「静かすぎること」などが思い出されます。

その 2

昭和四十五年、浴風園(高齢者施設)と家庭学校(児童養護施設)と上水保育園(乳幼児施設)に、皇太子ご夫妻がいらつしやると伝わりました。福祉施設が近隣にまとまってあり、どちらも歴史が古かったせいでしょう。家庭学校では、皇太子殿下は学童の遊び「メンコ」を初めて見たと仰って長時間遊びに加わったようです。保育園では私の担任している年長児組に入ってこれられ、子どもたちのリズム遊びを見学なさったのです。私は緊張の数分間でしたが、楽しくやろうと進めた事を思い出します。美智子妃殿下は風邪のためいらつしやらず、報道関係者が半減したとの声が聞かれました。

その 3

平成二十九年四月に「よくふう保育園」がオープンしました。浴風会で働く方々のお子さんと地域のお子さん 15 名のかわいい小さな保育園です。有り難いことに運営を依頼されました。上水保育園としては五番目の保育園に属し、よくふう保育園の子どもたちを含めると 451 名の子どもと 164 名の職員が法人の中で活躍しています。

よくふう保育園は広い自然に囲まれ、また、人生経験豊かな利用者の方々に可愛がられて育っています。

これからも共に福祉施設としてすべての人々に「元氣」を手渡せる日々でありたいと願います。400 号本当におめでとうございます。

“浴風会誌” 400号の歩み

常任顧問
編集委員長

露口 長

この会誌もお蔭さまで400号を迎えました。1970（昭和45）年10月創刊以来48年を数えます。この機会にその成り立ち、歩みをご紹介します。創刊時の編集者は次のように記しています。「刻々に変貌しつつある世相に応じて、老人ホームの在り方も当然改められなければなりません。本会の近況を御報告するため、かねてから「たより」の様なものを発行したいと思っていました。ところが、今回漸く創刊号を発行する運びとなりました。初めてのことで編集にも意に満たぬものがあります。が、ご覧いただければ甚だ幸いです」と。

本会誌の流れを、前期と後期に分けてみましょう。

創刊当時の歩み

176号（1999年）までは隔月（奇数月）発行でした。編集は、3号までは芦沢威夫浴風園長が行いましたが、退職された後は、131号（1992年5月）まで関増爾病院長が引き受けられ、健康上の理由から辞された後は、176号（1999年11月）まで高橋喜三郎浴風園長が引き継がれました。

巻頭言は当時の理事長がお書きになり、とくに三上唯夫氏は常務理事（理事長を通して50号（1978年11月）から174号（1999年7月）まで休むことなくお書きになりました。中

身の紙面では、創刊直後の2、4号において、厚生省森幹郎老人福祉専門官の書かれた「老人ホームの在り方」を、関病院長が「特別養護老人ホームよりは病院を」と述べ、森専門官が応答するなど、真摯な応酬が記録に残っています。また、精神科クリニックの浜田晋医師が「地域における精神症状をもった老人とともに」を、大友英一病院長が「老化は防げるか」と題して連載、関増爾病院長初め、長嶋紀一、小川博、前田大作の諸先生の執筆を中心に老人問題が発信されておりました。27号から38号まで連載された芦沢威夫元浴風園長の「昔ばなし―浴風会の四十年」も当会先駆者の記録として貴重でした。また、このほか、ご高齢でなお各方面の第一線で活躍されている著名な方々のインタビュー記事も本紙の大きな特色でした。また、巻頭を飾る写真には、個人情報保護が厳しく言われる前で、利用者のいきいきとした表情、活動する姿が多く残されていて施設の雰囲気存分に伝えています。

隔月発行から毎月発行に

さて、2000年1月の177号から、前年に就任された板山賢治理事長の方針により毎月発行に改められ、巻頭言には多くの関係者にも執筆いただくことになりました。そして毎年1月号には施設長等幹部が年頭の抱負を述べることとしました。同理事長は、法

人のレベル評価の物差しの一つに「機関紙の定期的発行」をあげ、「法人関係者の意志統一、情報交換、意識啓発の場として、更には、利用者、家族、そして地域関係者への情報公開、広報の手段という重要な意味を持つ」と常々言われておりました。なお、シリーズとして「認知症ケア最前線」「都市における高齢者の住まい」「浴風会と共に」などが連載されました。

発行部数は、創刊当初約1500部でスタートし、その後次第に増やし100号頃には6500部という記録もあります。近年は4000部となっており、行政、地域、関係団体、職員の皆様にお読みいただいております。

題字の「浴風会」は、56号（1979年11月）までは高木武三郎理事長、57号（1980年1月）以降現在まで、難尾弘吉会長の筆になるものです。

なお、編集は、177号（2000年1月）から板山理事長のもと、筆者のほか、時期により川崎現参与、松本地域サービス部長、菊池ケアハウス園長が担当し、現在は、本部・各施設のスタッフの協力を得て行われています。

これまで寄せられた多くの皆様方のご支援ご協力に感謝申し上げますとともに、これまで以上の叱咤激励を賜るようお願い申し上げます。

（役職名は、当時の職名を用いています。）



浴風会誌（合本）第1集～第3集



浴風会誌創刊号

浴風会の動き (7月)



アニマルセラピー (浴風園)

【本部事務局】

2日 マカオ特別行政区一行25名見学。
13日 迎え火。
17日 Jリーグ社会連携本部藤村昇司
本部長視察。送り火。
18日 孟蘭盆会法要。
19日 ジョージ・メイソン大学学生等
9名見学。
24日 韓国ソウル市高齢者研究情報セ
ンター一行5名見学。
29日 富士見ヶ丘商店会七夕踊り流し
祭り(職員9名ボランティア参加)。
(浅井)

浴風会ケアスクール

Caféオレンジリボンウッド

1日 介護福祉士実務者研修9期生開
講。受講生6名。
3日 毎週火曜日 介護職員初任者研
修スクールリング。受講生11名。講師:
大津陽子氏、越智佳子氏(職員) 宮島
山本、矢形、阿部、上田、清水、窪寺、
宇田川。

6日 特別区職員互助組合介護講座

「いつまでも自分らしく!これで差が
出る!健康な心と身体をつくり方」
参加者26名。講師・尾崎哲則氏・河
合恒氏(職員) 渡邊。

11日 よくふう語ろう会(認知症介
護家族会)21名参加。毎回参加者のご
希望に合わせてグループ分けをして、
日頃の介護について語り合っています。
次回は、9月12日10時30分から
本館第三会議室にて開催します。

19日 毎週木曜日 介護福祉士実務
者研修スクールリング開講式8期生9
期生。受講生20名。講師・越智佳子氏。

9・27日 caféオレンジリボン
ウッド開店。来店者9日56名・27日
68名。次回は8月24日11時30分・15
時 本館1階第三会議室にて開店い
たします。パン、焼き菓子、
コーヒীর他素敵な小物の

販売と、折り紙など一緒に
楽しめる手作りコーナーも
あります。みなさまのご来店
をお待ちしております。



27日 よくふう学ぼう会「遺言・相続
の基礎知識」実施。参加者31名。講師:
太田秀隆氏。
(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園

(養護老人ホーム)

5日 公益社団法人日本動物病院協会
の皆様がアニマルセラピーボランティア
アとして来園されました。21名のご利
用者様が参加され、セラピー犬との触
れ合いのひとときを笑顔多く過ごされ

ていました。

7日 七夕へ向け皆様で
笹飾りを作成しました。

七夕前日の昼食は天の川
をイメージした七夕メニ
ューをお楽しみいただき
ました。



(宮崎)

松風園

(軽費老人ホーム)

6日 歩こう会で仙川にあるキューピ
ーの見学施設のマヨテラスへ行つてき
ました。マヨネーズにまつわるさまざ
まな情報や歴史、製造工程などを体感
しながら分かりやすく学びました。マ
ヨネーズにマーマレードを加えたりオ
リジナルなマヨネーズ作りも楽しん
で、サラダもおいしくご馳走になりま
した。ものづくりへの想いや工夫に感
動と驚きで一杯でした。
(宮中)

浴風会ケアハウス

10日 カフェケアハウスを開催しまし
た。水分補給とどらんの時間です。
18日 今月の歩こう会は、両国の江戸
東京博物館に行ってきました。
25日 毎年恒例の納涼祭を開催しまし
た。今回は地域の保育園の皆様との交
流の時間を企画しました。
(隈本)

【介護保険事業】

南陽園

(特別養護老人ホーム)

7日 七夕祭り。近隣のお宅から譲っ
ていただいた笹に、ご利用者の皆様の
願いを込めた短冊や輪飾りなどを飾り
ました。

21日 阿波踊り。飛鳥連の皆様をお招
きし、各フロアで盛大に行いました。

鳴り物にあわせて踊る、踊り子さん
達の姿は圧巻で、中には一緒に踊る
ご利用者もいらっしやいました。
(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

7月より生活相談員となりました
徳増尚高です。特別養護老人ホーム南
陽園のケアワーカーから職種変更して
参りました。

在宅サービスセンターの経験は初め
で、日々学んでいるところです。
認知症の方やご家族が安心し
て地域で暮らせるようサポー
トさせていただきます。
まだ未熟な相談員ではありますが、
どうぞよろしくお願い致します。
(徳増)



★各事業のお問い合わせは随時行つてお
りますので、お気軽にご連絡下さい。
◎電話03-3334-2743
(徳増・工藤)



バザー開催のお知らせ

とき 8月26日(日)

場所 南陽園

ご家庭でご不用の品物がございましたら
8月19日(日)までに南陽園1階受付
までお持ちください。

売上金は「7月豪雨災害義援金」に
させていただきます。

ご協力お願い申し上げます。



浴風会病院 診療案内 ⑭

浴風会病院「在宅医療介護支援室」について

医療相談・支援室長補佐 高橋智哉

「在宅医療介護支援室」は医療連携室や医療相談・支援室等を含め病院入口のすぐ目の前に設置されています。どなたでも気軽にお立ち寄りいただき、皆様が相談しやすい雰囲気づくりに努めています。

今回はその「在宅医療介護連携室」の機能についてご紹介させていただきます。

◆医療連携室は入退院の調整を行います

医療連携室は、当院への入院調整部門としての役割を担っています。主に急性期病院からの転院相談が多く、患者様の身体状況や受け入れるベッド状況を見ながら調整を行っています。入院に際し院内および紹介医療機関や当法人内施設との情報共有を密に行う必要があるため、名前の通り『連携』がとても大切な役割となっています。



◆医療相談・支援室は患者様・ご家族の相談窓口です

退院調整部門として、入院から退院までの支援を医療ソーシャルワーカーが対応しています。病気の発症は様々な不安や悩み、ストレスに対峙することとなり、入院生活ではご本人・ご家族が混乱してしまう場面が多々見られます。そのような際の相談窓口として地域の福祉・医療サービスの情報をもとに、患者様・ご家族に寄り添った相談対応を行っています。

◆東京都認知症疾患医療センターでは認知症に関する相談等をお受けします

平成 24 年に東京都から指定を受け、在宅医療介護支援室が主軸となり、認知症に関する様々な相談を受け付けています。受診に関する相談・調整だけではなく、地域との連携や講演会の企画、専門職向けの研修会の開催や、区と協働した認知症施策の取り組みなど、患者様・ご家族への直接的な支援から地域づくりなどの広域的な支援まで幅広い活動を行っています。

◆訪問医療を行っています

在宅医療の取り組みとして訪問部門を設置しています。訪問診療・訪問看護・訪問リハビリがあり、それぞれ専門職がご自宅に伺い疾病の管理や予防に努めています。浴風会病院の訪問サービスは、当院の外来や入院機能との連動が可能となっており、院内サービスにとどまらず地域に根差した医療を展開しています。



浴風会病院ではこれらの取組み以外にも、地域内の認知症の方の早期発見・早期対応を目的とした初期集中支援チームや、入院した認知症患者の院内での早期的な支援体制整備を目的とした認知症ケアチームの活動なども当部署を拠点に行っています。

様々な役割を担うこの「在宅医療介護支援室」ですが、メンバーは医療ソーシャルワーカー、看護師、作業療法士等の計 17 名の多職種で構成されており、部署内でも密な連携が必要となっています。患者様・ご家族のみならず、地域の皆様とも、より良い関係を築きながら、浴風会病院の窓口としての機能を果たしていきたいと考えております。どんなことでもお気軽にご相談ください。

お問合せ 浴風会病院 03-3332-6511 (代表)

ご芳志

平成 30 年 6 月 16 日から
平成 30 年 7 月 15 日
多くの方々よりご芳情を
いただきました。
ありがとうございました。
〈金品・物品〉
林 泰様、宮沢 郁子様、
林 四郎様、吉岡 慶子様、
三機工業株式会社様
●ほか、各施設にもいただいて
おります。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
sounu2@yokufukai.or.jp
http://www.yokufukai.or.jp/

第1回

知る！ 見る！ 体験する！ 交流する！

浴風会つながるフェスタ (旧 あんしん介護フェア)

10/20 (土)

開催決定！

【会場】浴風会 中庭
コミュニティホール 他【お問合わせ・お申込】
浴風会ケアスクール
(平日 9 時～17 時半)◆講演会 ◆企業展示 ◆福祉作業所の販売
◆ゆるキャラ ◆模擬店 ◆フリーマーケット
など …

大人から子どもまで楽しめる催しがいっぱいです！

★フリーマーケット出店者募集★

◎出店料：500 円(1区画 180×180cm)

◎お申込先着順(詳細は HP に掲載します)

☎03-3334-2149 FAX 03-3334-2694